

委員会での
報告事項

令和2年中の火災・

救急・救助の概要

概況は以下のとおりです。

▽火災発生20件（前年度比3件増）▽救急出動3398件（同465件減）。このうち新型コロナウイルス感染症疑いの搬送は115件（搬送前の陽性確定者1人、搬送後の陽性確定者1人、PCR検査後の陰性確定者43人、その他70人は検査の必要なしと判断）▽救助出動33件（同6件減）。

委員は「救急車の除菌システム」を問いましたが、市は「令和2年12月にオゾンガス発生装置を導入したこと

で、短時間であらゆる感染症、ウイルス等の無毒化が可能となった」と説明。

また救急出動減少の原因については市は、新型コロナウイルスの影響で外出を自粛したり、救急要請を控えたことが背景にあるのではないかとし、「必要な場合は当然救急車を利用していただきたいと考えるが、軽症者の搬送が多い状況から、引き続き適正利用に向けてPRを強化したい」との考えを示しました。（総務常任委員会）

新型コロナウイルス

ワクチン接種事業

市は、次のように接種を進める予定です。

▽対象者Ⅱ令和4年2月28日までに16歳以上となる市民▽順序Ⅱ医療従事者等、高齢者、高齢者以外で基礎疾患を有する者および高齢施設等従事者、それ以

外の者の順▽回数Ⅱ2回▽時期Ⅱ医療従事者は2月17日から、高齢者は3月下旬からで、その他の者は4月下旬以降に個別通知の発送を行い、国のスケジュールに従い順次実施▽

場所Ⅱ協力医療機関での個別接種、もしくは接種会場における集団接種▽方法Ⅱ送付された案内文と接種券に従い、あらかじめ指定する医療機関や保健センター等から日時と場所を選択し、コールセンターへの電話やインターネットで予約▽料金Ⅱ無料▽担当課Ⅱ健康推進課―となります。

また「まだ確定しない内容があり、今後国の通知等で詳細が判明次第、具体的な対応を速やかに進めたい」と説明しました。

委員は、医療従事者の範囲を問いましたが、市は「病院・診療所で新型コロナウイルス感染症患者および疑いの

ある患者に頻繁に接する機会のある医師その他の職員とされており、職種は限定されないため、歯科医、看護師を初め、消防士、介護従事者、薬剤師等も含まれる」と回答。

このほか高齢者施設入所者への対応について、市は「施設の嘱託医による接種が可能か医師会と協議・検討する」との見解を示しました。

委員からは「市民にしっかりと情報提供すべき」「地域に合った安全な接種体制を」等の意見がありました。（福祉常任委員会）

久世小学校区4自治会の「交通の手段についての請願」に係る対応

市は、同請願の対応を検討してきましたが、緑ヶ丘および上大谷友が丘自治会において交通手段を必要とする人

が多いことから、令和2年10月、既存の京都京阪バス大久保宮ノ谷線の路線一部変更（市道103号線から1101号線へ）およびバス停留所（仮称城陽団地口）新設等という対策案を4自治会に提示したところでした。

その後、対策案について各自自治会で話し合いが持たれ、一部の自治会からは沿線やバス停新設・移転付近の住民の理解を得ることが難しいとの回答を得ました。

これを受け市は「沿線住民の理解が得られない中で対策案は実施できないと考えており、4自治会に回覧にて結果を通知し、本請願に對する対応はこれをもって終了する」と説明しました。（建設常任委員会）

会に諮問していた給食費改定について、令和3年2月12日付で答申を受けたと報告しました。

答申では、輸送等の経費を加味した食材費の上昇傾向から、安心・安全で十分な栄養価を満たす給食実施に影響が及んでいること、また2年1月実施の保護者アンケートでも大多数が給食充実を求め意見であったことを踏まえ、保護者の経済的負担を考慮しつつも小・中学校ともに1食当たり20円の改定が妥当としています。

答申を受け市は「実施時期について慎重に判断した結果、3年度2学期から改定を行う予定」と説明しました。委員からは「値上げの必要性は理解するが、コロナ禍の影響を考慮し、時期についてはしっかりと判断を」との意見ができました。（文教常任委員会）

給食費の改定

市は、学校給食審議